




# 目次

概要	XX
高音質ファイル再生を誰でも簡単に楽しめる	XX
対応製品およびOS	XX
特長	XX
VECLOS SSB-380Sで簡単・高音質音楽再生	XX
シンプルな画面によりCPU負荷を軽減し高音質を実現	XX
自分の好みの音質が追求できる転送モード、再生方式の選択	XX
その他の特長	XX
Windowsでの設定方法	XX
ソフトウェアのインストール	XX
ソフトウェアの起動	XX
デバイス(USB DAC)のセットアップ	XX
転送モードを変更する	XX
より高音質再生するには	XX
DSD再生方式の選択	XX
データ読み込み方法の選択	XX
Macでの設定方法	XX
ソフトウェアのインストール	XX
ソフトウェアの起動	XX
ソフトウェアの削除	XX
デバイス(USB DAC)のセットアップ	XX
転送モードを変更する	XX
より高音質再生するには	XX
DSD再生方式の選択	XX
データ読み込み方法の選択	XX
操作方法	XX
音源の準備	XX
音源の再生	XX
プレイリストの管理	XX
プレイリストの保存	XX
プレイリストの読み込み	XX

"DSD"は登録商標です。"DSD Disc Format"および  は、ソニー株式会社の商標です。

ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

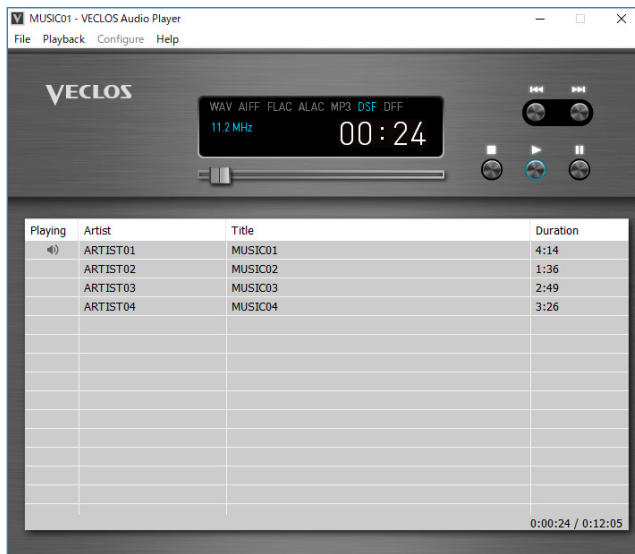
Apple, Mac, OS X and macOS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

# 概要

## 高音質ファイル再生を誰でも簡単に楽しめる

DSD 22.5MHz/PCM 768kHz Windows/Mac 両対応音楽再生ソフトウェア。



VECLOS HR Audio Player は、Windows および Mac 上で動作するハイレゾ音源対応の高音質プレーヤーソフトウェアです。VECLOS SSB-380S とのコンビネーションにより、複雑な設定をしなくても DSD を含むハイレゾ音源再生を高音質で楽しむことが可能です。

従来の DSD 再生ソフトウェアは専門的なものが多く、高音質再生をするには高度な知識と複雑な設定が必要でしたが、「VECLOS HR Audio Player」では、インストール後に設定画面で接続した機器を選択すれば高音質再生環境が完成します。あとは、ドラッグアンドドロップで聴きたいファイルをプレーヤー上に並べるだけで、ハイレゾファイルの高音質再生が可能になります。

簡単にハイレゾファイル再生環境を提供するだけでなく、対応機器のポテンシャルを最大限に発揮できるよう、ソフトウェア側でも高音質再生に配慮。画面表示を簡略化し CPU 負荷を軽減することで、よりスムーズに再生ができるよう配慮しています。

DSD ファイル再生 \* においては DoP 方式および DSD ネイティブ再生をサポート。リスナーの好みに合わせて再生方法を選択することが可能です。

さらに音質を追い込みたいリスナーは、VECLOS SSB-380S へのデータ転送モードを切り換えることができます。VECLOS HR Audio Player は転送モードとして

Isochronous、または、Bulk Pet を選択することができます。さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから選択することができます。また DSD のファイルを再生する場合も再生方式を選択することができます。

「VECLOS HR Audio Player」は、簡単にハイレゾファイル再生を高音質で楽しむことができる、無料の VECLOS SSB-380S 専用音楽再生ソフトウェアです。

## 対応製品および OS

(2018 年 5 月現在)

### 対応 OS

Windows : Windows Vista (32bit 版、64bit 版)  
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)  
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)  
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)  
Windows 10 (32bit 版、64bit 版)

Mac : OS X Lion (10.7)  
OS X MountainLion (10.8)  
OS X Mavericks (10.9)  
OS X Yosemite (10.10)  
OS X El Capitan (10.11.1)  
macOS Sierra (10.12)  
macOS High Sierra (10.13)

# 特長

## VECLOS SSB-380S で簡単・高音質音楽再生

VECLOS SSB-380S において、インストールするだけで誰でも簡単にハイレゾファイル再生を楽しむことが可能です。専門のソフトウェアと異なり、設定が非常にシンプルな構成となっており、ソフトウェア以外にプラグインなどをインストールする必要もありません。



### DSD 対応機種は Windows、Mac 共に DSD ネイティブ再生に対応

Windows、Mac 共に DSD の再生方式は、PCM への変換を行わずにダイレクトに DSD をアナログ化する DSD ネイティブ再生に対応しています。

- DSD 再生対応機種が対応している最大サンプリング周波数 (11.2MHz、または、22.5MHz) の DSD ファイルを再生する場合は DSD ネイティブ方式を選択して下さい。

### DSD にとどまらず、様々な形式のハイレゾファイル再生に対応

最大 DSD 22.5MHz ファイルだけでなく、PCM においても最大 768kHz ファイルの再生に対応。また、FLAC においても最大 768kHz ファイルの再生に対応しています。

#### 対応ファイル形式

DSF (拡張子 dsf)	2.8/5.6/11.2/22.5MHz
DSDIFF (拡張子 dff)	2.8/5.6/11.2/22.5MHz
PCM (拡張子 wav)	44.1k ~ 768kHz, 16 ~ 32bit
FLAC (拡張子 flac)	44.1k ~ 768kHz, 16 ~ 32bit
MP3 (拡張子 mp3)	32k ~ 320kbps
AIFF (拡張子 aif)	44.1k ~ 768kHz, 16 ~ 32bit
ALAC (拡張子 m4a)	44.1k ~ 768kHz, 16 ~ 32bit

## シンプルな画面により CPU 負荷を軽減し高音質を実現

簡単にハイレゾファイル再生が楽しめるだけでなく、高音質再生も実現しました。画面表示はオーディオ機器との組み合わせにおいて、オーディオの品位を主張しながらも簡易的な画面表示にとどめることで、画面表示による CPU 負荷を軽減し高音質化を実現しました。

## 自分の好みの音質が追求できる転送モード、再生方式の選択

VECLOS HR Audio Player は転送モードとして Isochronous、または、Bulk Pet を選択可能。さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから、好みの音質のモードを選択できます。また DSD のファイルの再生においても、[DSD over PCM] と [DSD Native] から選択が可能。お好みの音質が追求できます。

## その他の特長

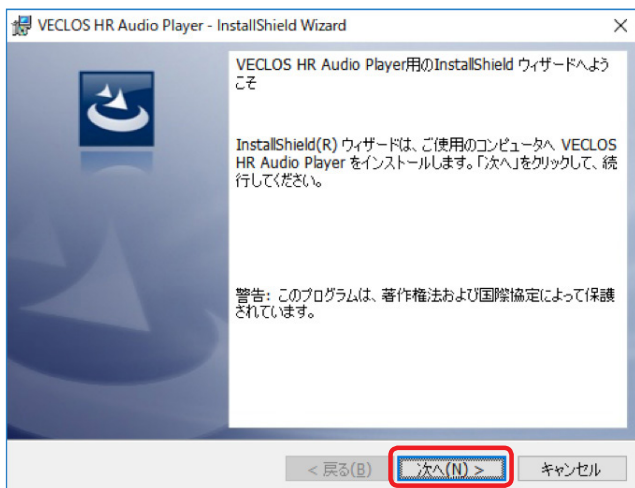
- プレイリストの作成、保存、読み込みが可能
  - プレイリストおよび曲ごとのリピート再生機能
  - プレイリストのシャッフル再生機能
- ※対応製品以外では動作しません。

# Windowsでの設定方法

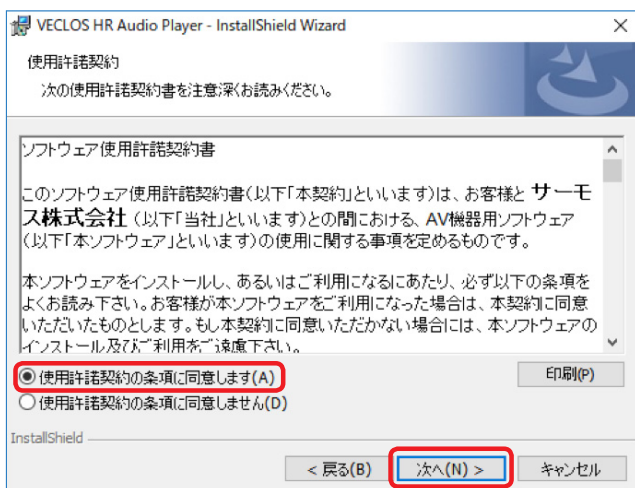
## ソフトウェアのインストール

**1** ダウンロードしたファイルを解凍する。

**2** Setup VECLOS HR Audio Player.exeをダブルクリックしてインストールウィザードを開始する。  
(ア) 「次へ」 ボタンをクリックする。



**3** 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択した後、「次へ」 ボタンをクリックする。



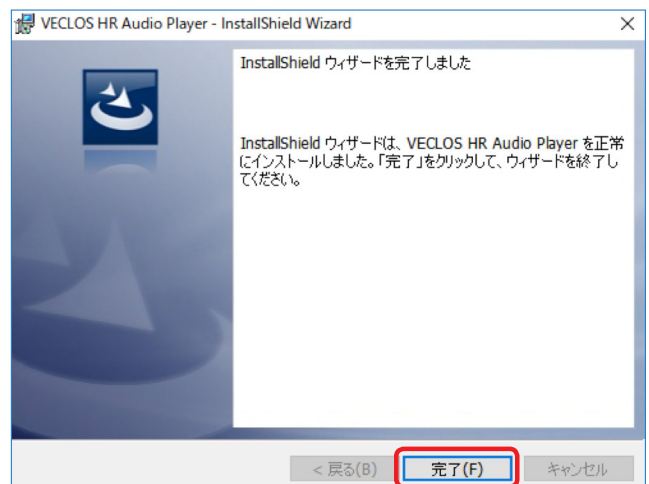
**4** 「次へ」 をクリックする。



**5** 「インストール」 をクリックする。



**6** ウィザードの完了画面が表示されたら「完了」 をクリックしてインストールを終了する。

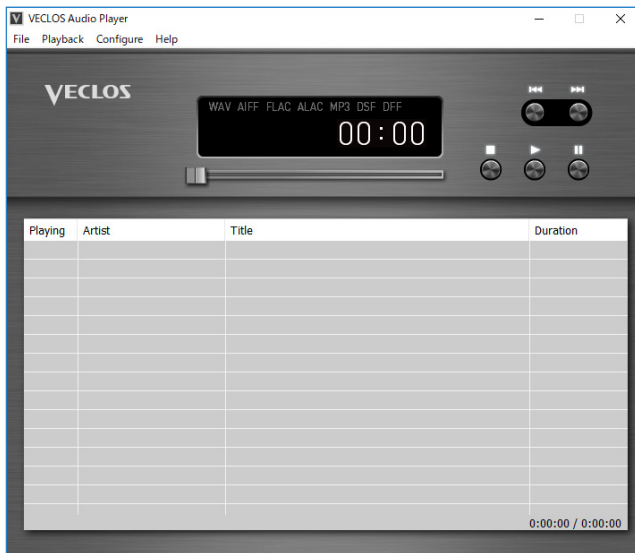


# Windowsでの設定方法(続き)

## ソフトウェアの起動

VECLOS HR Audio Player は、パソコンに USB DAC を接続してから起動してください。

「VECLOS HR Audio Player」を起動すると、メイン画面が表示されます。



## デバイス (USB DAC) のセットアップ

USB DAC を接続すると自動で認識します。

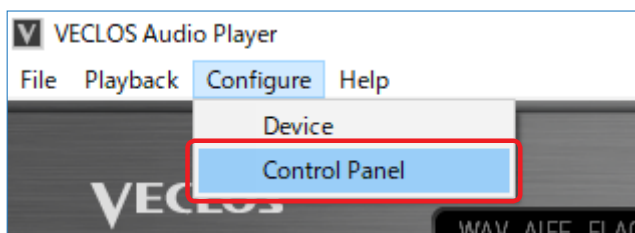
これで「VECLOS HR Audio Player」から USB DAC に音声を出力する準備が整いました。

## 転送モードを変更する

転送モードとして Isochronous、または、Bulk Pet を選択することができます。

さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから選択することができます。

[Configure] メニューから [Control Panel] を選択します。



## より高音質再生するには

### DSD 再生方式の選択

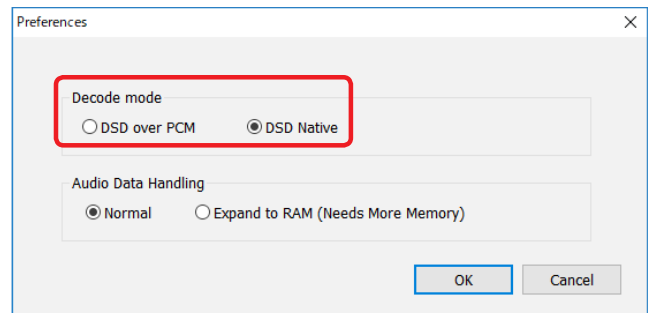
DSD のファイルを再生する場合、「VECLOS HR Audio Player」では再生方式を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Preferences] ウィンドウを開きます。

[Decode mode] の項目で、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

### 注意

- SSB-380S を接続し、対応している最大サンプリング周波数 (11.2MHz) の DSD ファイルを再生する場合は、[DSD Native] を選択してください。[DSD over PCM] を選択していると再生操作はできませんが、接続した機器から音が出ません。



### [DSD over PCM]

DoP(DSD Audio over PCM Frames) 方式と呼ばれる再生方式で、通常の PCM 方式の信号に DSD 信号を埋め込んで再生します。

### [DSD Native]

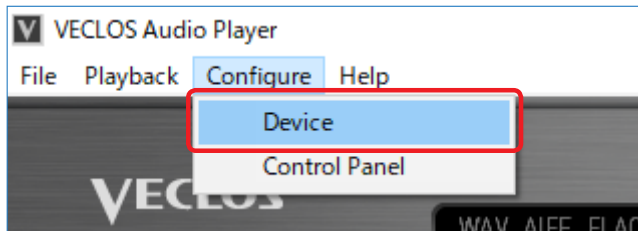
ASIO2.1 ドライバーによって、PCM への変換などを行わずに DSD ファイルをダイレクトに転送します。

# Windowsでの設定方法(続き)

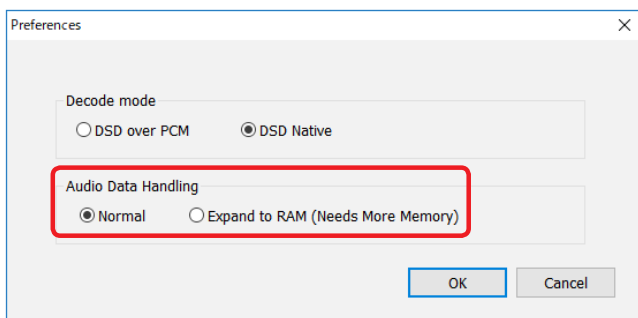
## データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、ファイルへのアクセス方法を選択することができます。

[Configure] から [Device] を選択し [Preferences] ウィンドウを開きます。



[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



## [Normal]

通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

## [Expand to RAM]

再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。

- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。きますが、接続した機器から音が出ません。

# Macでの設定方法

## ソフトウェアのインストール

**1** ダウンロードしたファイルを解凍する。

**2** Setup VECLOS HR Audio Player.pkg をダブルクリックしてインストールを開始する。

 VECLOS Audio Driver.pkg

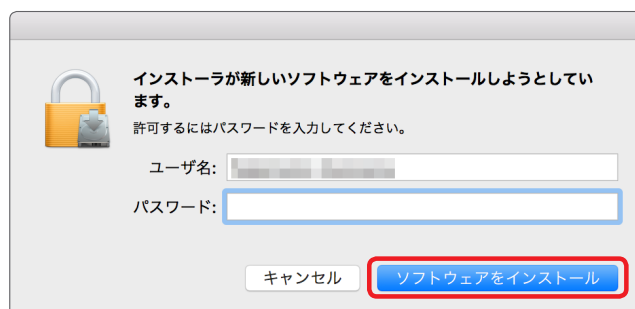
**3** 「続ける」 ボタンをクリックする。



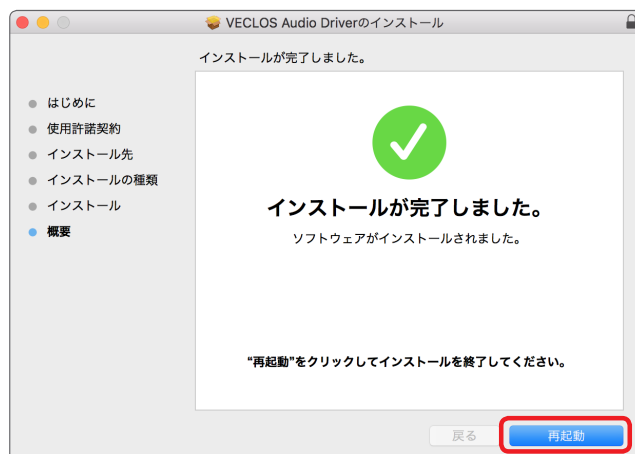
**4** インストール先のハードディスクの空き容量が不足していないかを確認して、「インストール」 ボタンを押す。



インストールをするには、管理者アカウントとパスワードを入力する必要があります。



**5** 「インストールが完了しました。」と表示されたら「閉じる」 ボタンを押してインストールを終了する。





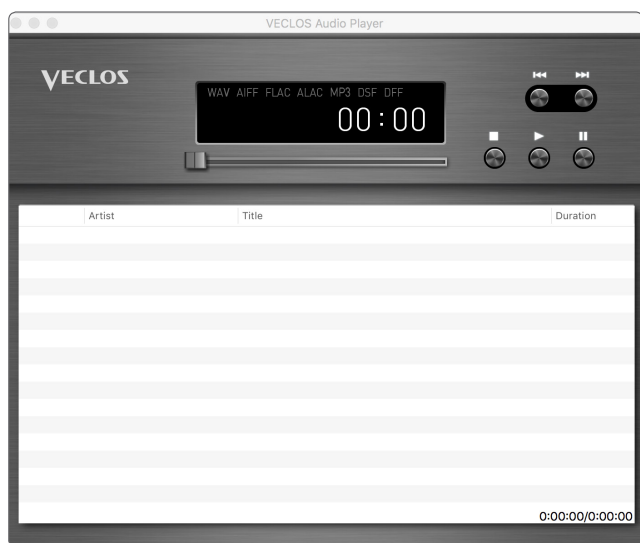
# Macでの設定方法(続き)

## ソフトウェアの起動

アプリケーションフォルダ内にあるアイコン「VECLOS HR Audio Player」をダブルクリックして実行します。

注：本ソフトウェアは、パソコンにUSB DACを接続してから起動してください。

「VECLOS HR Audio Player」を起動すると、メイン画面が表示されます。



## ソフトウェアの削除

VECLOS HR Audio Player を削除したい場合は、アプリケーションフォルダ内にあるアイコン「VECLOS HR Audio Player」を削除してください。

## デバイス (USB DAC) のセットアップ

USB DAC を接続すると自動で認識します。

これで「VECLOS HR Audio Player」から USB DAC に音声を出力する準備が整いました。

- USB DAC を接続していない状態で本ソフトウェアを起動すると、デバイス設定が消去される場合があります。その場合は、USB DAC を接続してから、本ソフトウェアを起動してください。

## 転送モードを変更する

SSB-380S は、転送モードとして Isochronous、または、Bulk Pet を選択することができます。

さらに Bulk Pet はデータ転送パターンの異なる 4 つのモードから選択することができます。

メニューバーの「VECLOS HR Audio Player」から、「Control Panel」を選択します。



## より高音質再生するには

### DSD 再生方式の選択

DSD のファイルを再生する場合、「VECLOS HR Audio Player」では再生方式を選択することができます。

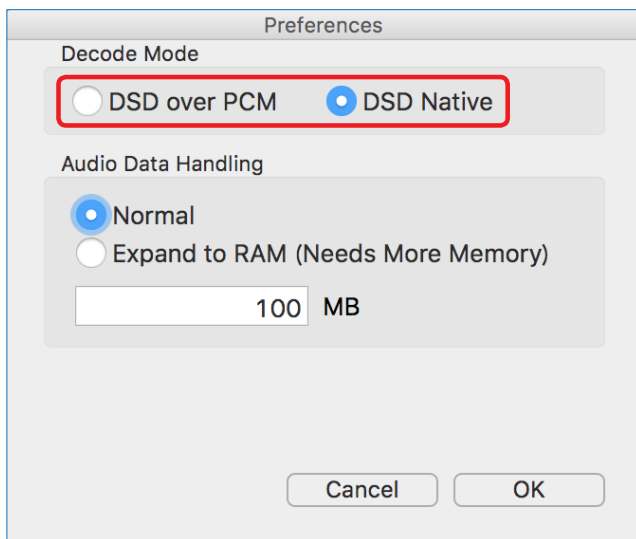
メニューバーの「VECLOS HR Audio Player」から「Preferences...」を選択し「Preferences」ウインドウを開きます。

[Decode mode] の項目で、[DSD over PCM] もしくは [DSD Native] を選択することができますので、好みの再生方式を選択してください。

### 注意

- SSB-380S を接続し、対応している最大サンプリング周波数 (11.2MHz または、22.5MHz) の DSD ファイルを再生する場合は、[DSD Native] を選択してください。[DSD over PCM] を選択していると再生操作はできますが、接続した機器から音が出ません。

# Macでの設定方法(続き)



## [DSD over PCM]

DoP (DSD Audio over PCM Frames) 方式と呼ばれる再生方式で、通常の PCM 方式の信号に DSD 信号を埋め込んで再生します。

## [DSD Native]

PCM への変換などを行わずに DSD ファイルをダイレクトに転送します。

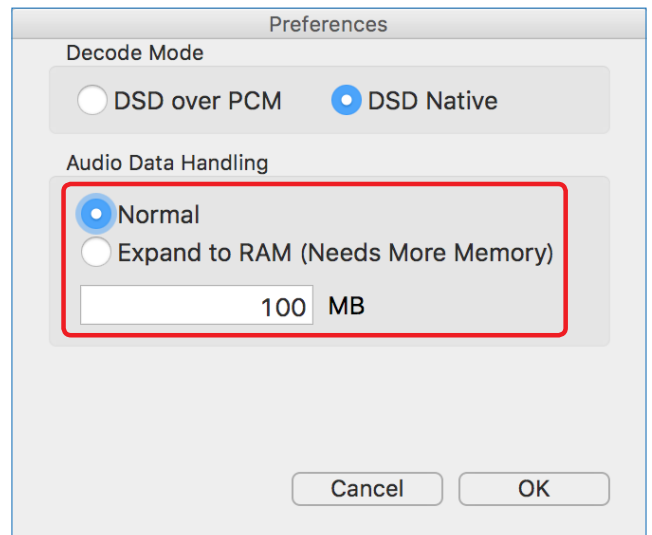
## データ読み込み方法の選択

ファイルを再生する場合の、ファイルへのアクセス方法を選択することができます。

メニューバーの [VECLOS HR Audio Player] から [Preferences...] を選択し [Preferences] ウィンドウを開きます。



[Audio Data Handling] の項目で、[Normal] もしくは [Expand to RAM] を選択することができますので、より高音質の再生を行いたい場合は [Expand to RAM] を選択してください。



## [Normal]

通常のファイルのアクセスと同じ方法で読み込みを行います。

## [Expand to RAM]

再生するファイルを一旦 RAM に読み込んでから再生します。再生と同時に読み込みを行わないため安定した状態で再生を行うことが可能で、高音質再生を実現します。[Expand to RAM] を選択した場合は、Expand to RAM 機能で使用するメモリの最大容量を設定することができます。よく聴くファイル形式に合わせて楽曲が読み込めるメモリ容量を任意で設定してください。

- [Expand to RAM] を選択した場合は、お使いのパソコンの処理速度が遅い場合、再生するまでに時間がかかることがあります。
- メモリの空き容量以上には設定しないで下さい。  
メモリ空き容量 > 設定値 > 曲の最大サイズ

# 操作方法

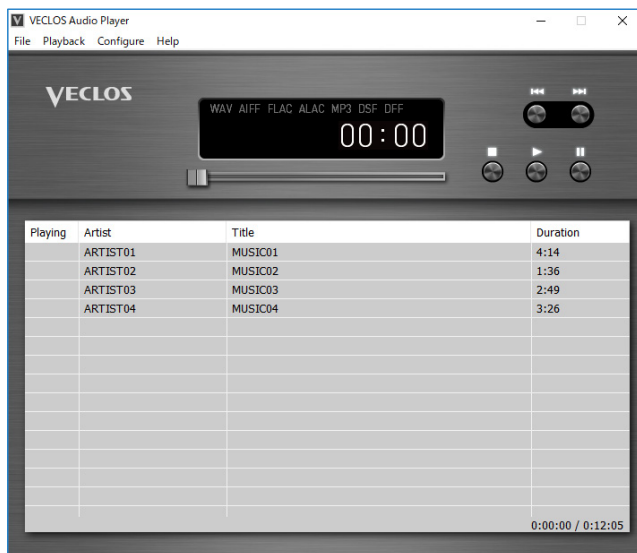
操作方法は Windows 版と Mac 版で共通です。  
本取扱説明書では、Windows 版を使って説明します。

## 音源の準備

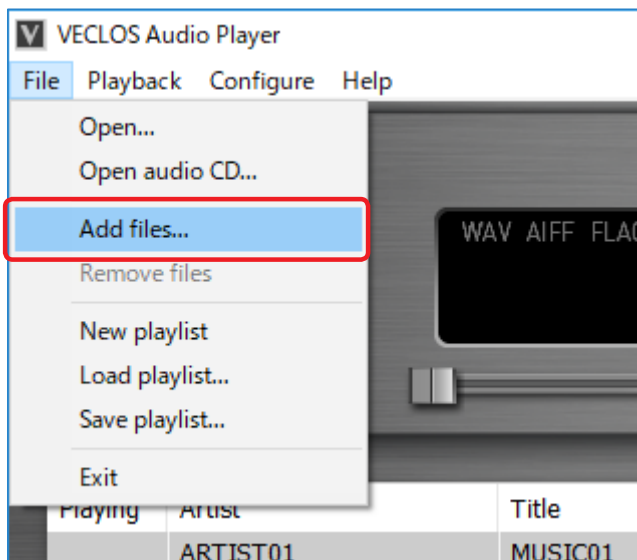
聴きたい音源を、「VECLOS HR Audio Player」で再生できるように準備します。

メイン画面下部のスペースをプレイリストと呼びます。  
まずは聴きたい曲をこのプレイリストに追加します。

- パソコン上にあるファイルをドラッグアンドドロップで追加することも可能です。

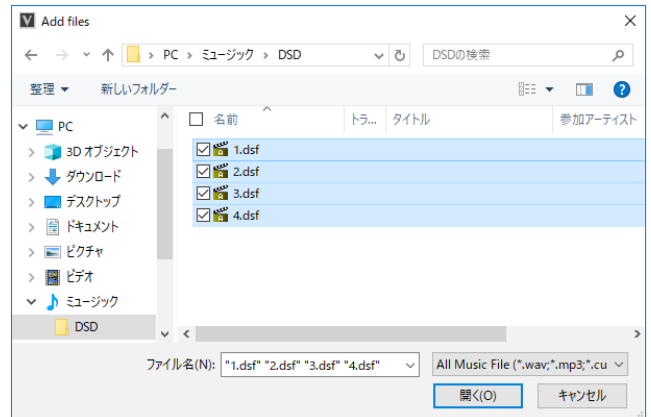


メイン画面において、左上の [File] メニューから [Add file...] を選択すると、[Add file] ウィンドウが開きます。



ウィンドウ内にて、聴きたいファイルを選択し [開く (O)] をクリックすると、「VECLOS HR Audio Player」にファイルが追加されます。

ファイル選択時に、複数のファイルをまとめて選択し [開く (O)] をクリックすることで複数のファイルを一度に追加することも可能です。



## 音源の再生

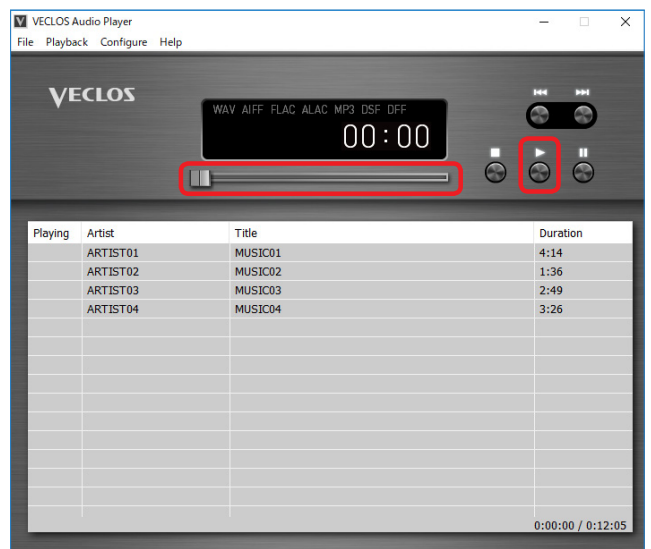
プレイリスト作成後、[PLAY] ボタンをクリックするとリストの先頭から再生を開始します。

停止したい場合は [STOP] ボタンを、一時停止したい場合は [PAUSE] ボタンをクリックします。

[STOP] ボタンで再生停止した場合は、次に [PLAY] ボタンを押すと、停止したファイルの先頭から再生します。

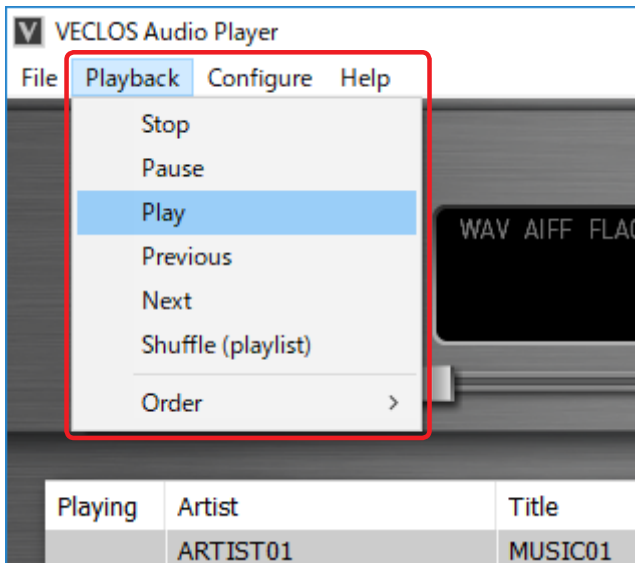
任意のファイルから再生を開始したい場合は、希望するファイルが表示されている行をマウスでダブルクリックしてください。

再生中に、時間表示部の下にあるスライダーをマウスで移動させると、任意の位置に再生ポイントを移動できます。



## 操作方法(続き)

メイン画面の [Playback] メニューから再生操作を行うことも可能です。



### [Stop]

再生中のファイルを停止します。[STOP] ボタンと同じ動作です。

### [Pause]

再生中のファイルを一時停止します。[PAUSE] ボタンと同じ動作です。

### [Play]

再生を開始します。[PLAY] ボタンと同じ動作です。

### [Previous]

ひとつ前の曲 (プレイリスト上でひとつ上の曲) に戻ります。

### [Next]

次の曲 (プレイリスト上でひとつ下の曲) に進みます。

### [Shuffle (playlist)]

プレイリスト内の曲をシャッフル (ランダム) 再生します。

### [Order]

リピート再生の方法を選択するメニューです。

### [Order] > [Default]

リピート再生しません。

### [Order] > [Repeat (playlist)]

プレイリスト内でリピート再生します。

### [Order] > [Repeat (title)]

現在選択されている曲のみリピート再生します。

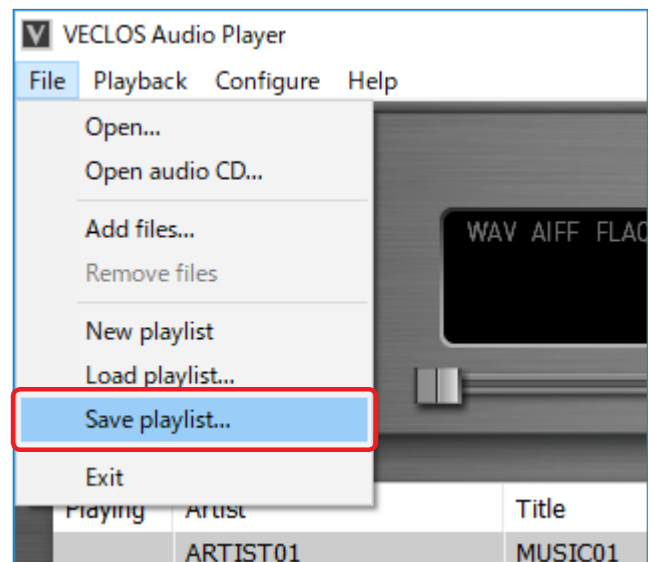
## プレイリストの管理

プレイリストに追加した曲をプレイリストとして保存することができます。よく聴く曲を集めたプレイリストを作成しておく便利です。

- プレイリストとして保存しない場合は「VECLOS HR Audio Player」を終了するとプレイリストが削除されます。

### プレイリストの保存

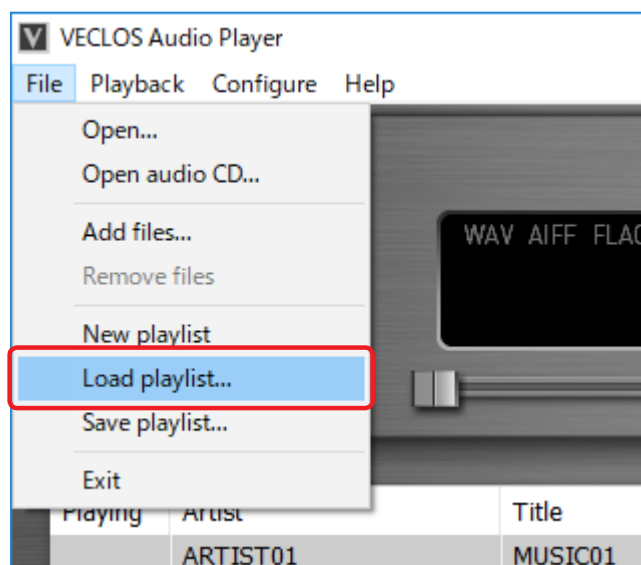
聴きたい曲をプレイリストに追加した状態で、[File] メニューから [Save playlist...] を選択します。[Save playlist] ウィンドウが開きますので、任意の場所を選択して [保存 (S)] をクリックするとプレイリストが保存されます。



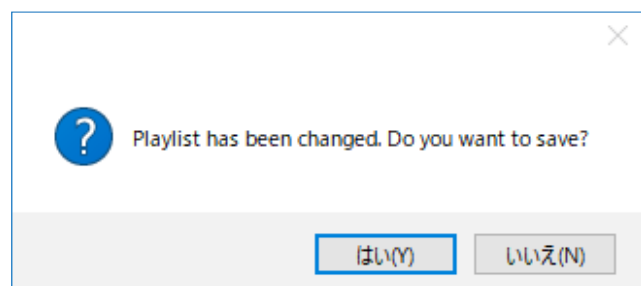
## 操作方法(続き)

### プレイリストの読み込み

「VECLOS HR Audio Player」を起動した直後はプレイリストに何も曲が入っていません。保存されているプレイリストを読み込むことで、すぐに再生の準備を整えることができ便利です。また、既にプレイリストが作成された（曲が追加されている）状態で新たにプレイリストを読み込むこともできます。複数のプレイリストを作成し、曲のジャンルや音源の性質ごとに分けておくと便利です。  
[File]メニューから [Load playlist] を選択します。



現在すでにプレイリストが作成されている（曲が追加されている）場合は、以下のようなウィンドウが開きます。保存する必要がある場合は [はい (Y)] を選択し保存してください。保存する必要がない場合は [いいえ (N)] を選択してください。



[Load playlist] ウィンドウが開きますので、プレイリスト (Windows は拡張子 .ppl、Mac は .xml) が保存してある場所から任意のプレイリストファイルを選択し、[開く (O)] をクリックすると保存されていたプレイリストが展開されます。

